

冬期の空間線量率の低下について

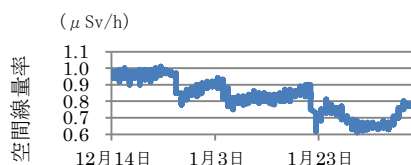
平成24年2月13日

福島県災害対策本部（原子力班）

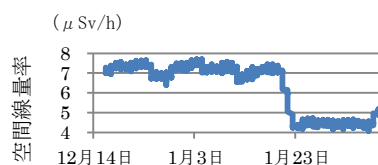
1 空間線量率低下の状況

福島県では、定点で空間線量率の測定を行っていますが、昨年の暮れから、空間線量率が低下する現象が複数の地点で観測されています。

<例> 県北保健福祉事務所



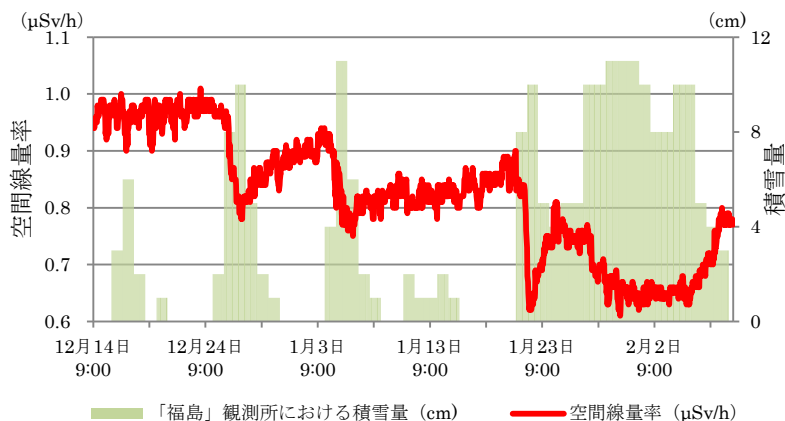
飯館村長泥コミュニティセンター



2 空間線量率低下の要因に関する考察

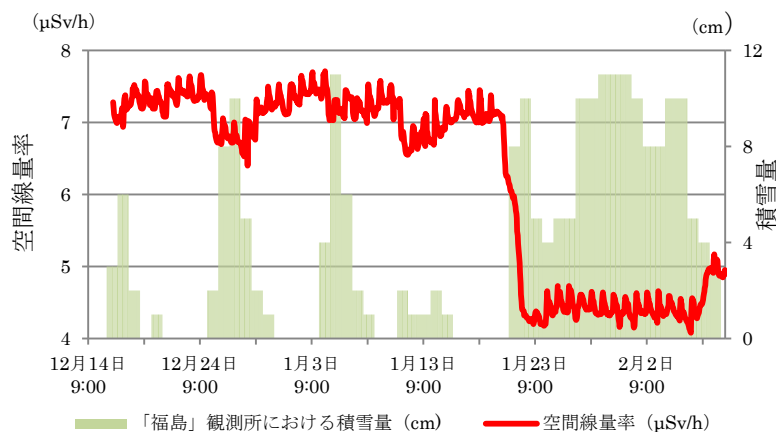
上記1の例に示す測定地点における空間線量率と福島地方気象台の「福島」観測所における積雪の状況については次のとおりです。

◇ 県北保健福祉事務所（サーベイメータによる測定）



県北保健福祉事務所での測定状況
(平成24年2月6日撮影)

◇ 飯館村長泥コミュニティセンター（可搬型モニタリングポストによる測定）



飯館村長泥コミュニティセンター
の可搬型モニタリングポスト
(平成24年1月26日撮影)

両調査地点において、

- ① 積雪がある時期に空間線量率が低下していること。
 - ② 積雪量の減少に伴い、線量の増加が見られること。
- が確認されました。

これらのことから、両地点における空間線量率の低下は積雪が地面に蓄積した放射性物質からのガンマ線を遮へいしたことによるものと考えられます。

春先の雪どけに伴い、空間線量率が積雪前の状態に戻ることも考えられることから、福島県では、今後も県内各地で空間線量率の測定を継続し、県内の状況を把握してまいります。